

福岡病院での診療情報を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	本村 知華子
2. 研究課題名	重症喘息に対し生物学的製剤で治療、中止に至った小児科症例の臨床的特徴
3. 研究の概要	<p>1目的 喘息は小児から高齢者までで発症する気道の慢性炎症性疾患で、咳や喘鳴、呼吸困難などの症状が認められます。吸入ステロイド薬などの治療薬剤継続により、喘息による死亡率は年々減少傾向となつていますが、十分な量の吸入ステロイド薬や長時間作用性β2刺激薬、ロイコトリエン受容体拮抗薬などを用いた治療を行っても、疾患のコントロールが得られない難治性喘息が存在しています。 このような難治性喘息に対して、皮下注射で投与し直接免疫機構に働きかける生物学的製剤と呼ばれる新たな治療薬剤が使用され10年が経過し、最近では治療を中止する例がみられるようになりました。そこで小児期に生物学的製剤を開始し中止に至った症例の特徴を明らかにする目的で調査を行います。</p> <p>2対象 当科に通院中で小児期に喘息のため生物学的製剤治療を開始後中止し、現在通院中の小児科症例約10例 小児期に生物学的製剤を開始し中止に至った症例の特徴を明らかにする目的</p> <p>研究期間(データ収集期間)倫理審査承認後から2023年3月31日。</p>
(個人情報利用の目的)	
4. 使用する診療情報	<p>診療情報内容:喘息発症年齢、喘息以外の合併疾患、開始年齢、生物学的製剤の種類、効果、変更、中止に至った理由、中止年齢、継続期間、中止後の入院、喘息治療、肺機能検査、呼気中NO、IgE値(開始時、変更時、中止時)</p> <p>対象診療期間 当院初診から現在まで</p>
5. 使用する検体	なし
6. 病名	気管支喘息

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会等において厳重に審査され、承認されています。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

国立病院機構福岡病院管理課
 管理課長

住所 : 〒811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1

電話:092-565-5534

FAX:092-566-0702

(お問い合わせは、なるべく、FAX又は郵送でお願いいたします。)